

お茶の里記念館



お茶の里記念館には、お茶の歴史を伝える資料展示室と黒木町特産品売場があります。特に、地元生産農家が丹精込めてつくった八女茶は人気の一品です。

黒木町観光の疲れを癒す休憩所もございますので、ご利用ください。



出花のかおり香しく、 霊巖寺に遠き明国を思い描く・・・

出羽国(現在の秋田県)の学僧・栄林周瑞禅師が明国(現在の中国)から帰朝。その後の応永30年(1423)、黒木を訪れた禅師は、この笠原の地が蘇州霊巖山寺の山形風光によく似ていることから、ときの黒木城主・黒木氏勝正清と当時鹿子尾村の庄屋・松尾太郎五郎久家の援助により霊巖寺を建立。その折に、明国から持ち帰った茶の実を与え、栽培及び製法を伝授したことが八女茶の起こりと伝えられています。

◎お問い合わせ お茶の里記念館 ☎(0943)42-4305
福岡県八女郡黒木町大字笠原9528-1



■八女茶発祥の地 霊巖寺

八女茶発祥の地、霊巖寺境内には日本三大奇岩の一つである県指定天然記念物の奇岩群が林立しています。その中でも珍宝岩は見事なものであり、大自然の造化の絶妙さに驚かされます。

春は若葉、秋は紅葉に映える奇岩の造形美と雄大さは格別で、家内安全や安産を祈願する人々の信仰を集めています。

境内には、本堂・観音堂・楞嚴堂のほか、八女茶発祥祈念碑並びに記念館・茶室があります。

上写真に見られる銅像が栄林周瑞禅師、同じく右端に見える株は八女茶の原木といわれています。(精進料理は要予約)



自然の造形美“霊巖寺の奇岩群”

◎お問い合わせ

霊巖寺 ☎(0943)42-4311
福岡県八女郡黒木町大字笠原9731